

全国連盟通信

第30期 No.6
2013年 6月14日
発行責任者
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: cbf31680@pop02.odn.ne.jp URL <http://www.njsf.net>

つなごう 支援の輪

国際スポーツ界において、「名誉ある地位を占めたいと思ふ」気持ちはあれど

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

猪瀬都知事が4月訪米し、ニューヨークに滞在中、ニューヨーク・タイムズ紙のインタビューに応じました。

猪瀬知事は「競技者にとって一番いい場所はどこか。インフラが整っておらず、洗練された施設もない二つの国と比べて下さい」と述べ、立候補都市のマドリード(スペイン)とイスタンブール(トルコ)に対する東京の優位性を訴えました。

国際オリンピック委員会(IOC)は、オリンピック招致の行動規範として「各都市は他の都市の批判や他都市との比較を行なってはならない」としています。今回の発言は、この規範に抵触する可能性が高いといわなければなりません。

そればかりではありません。猪瀬知事は「イスラム諸国が共有しているのはアラー(神)だけで、お互いにケンカばかりしている。そして、階級がある」とも語ったのです。

これを受けて、トルコのクルチ青年スポーツ大臣は「不公平で悲しい。オリンピック精神にも反している。イスタンブールは他の立候補都市に否定的な発言をしたことはなかったし、今後もしない」と、コメントしました。



ところで、オリンピズムの根本原則その4は「スポーツを行なうことは人権の一つである。すべての個人はいかなる種類の差別もなく、オリンピック精神によりスポーツを行なう機会を与えられなければならない、それには、友情、連帯そしてフェアプレイの精神に基づく相互理解が求められる」と、謳っています。

この根本原則を念頭に、2020年招致の施設計画にみると、有明テニスの森ではテニスコートが14面減ってしまいます。馬術会場になる夢の島競技場では、陸上競技場と軟式野球場12面がなくなってしまいます。

招致活動の国際規範に対する無理解、そして「すべての個人はスポーツを行なう機会を与えられなければならないはずが、逆に奪われてしまいかねない施設計画では、オリンピックを開催して国際スポーツ界で「名誉ある地位を占めたいと思ふ」気持ちがいくらあったとしても、かなわぬ春の宵の浅い夢でしかないのでは。

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 2 広島で新日本スポーツ連盟を作ろうと懇談 | 6-7 国際活動局の最近の取組報告 |
| 3 中国、四国、九州地方での組織拡大をめざす。他 | 8 全国会議及び主要事業予定一覧 |
| 4-5 地方連盟の対自治体懇談会(交渉)を後押しする情報 | 広告(スポーツセミナー、ひろば購読、第3回討論会) |

広島で新日本スポーツ連盟を作ろうと懇談

2013年6月10日 北川登 記

1、懇談の意義

評議員会方針で示されている2013年度活動の重点のひとつに、『暖かさと連帯に充ちた多様なスポーツ活動を広げ、「スポーツの仲間づくり運動」をダイナミックにすすめよう』があります。

そのためにブロックの共同の力の発揮、都道府県連盟と全国・地方種目組織との連携、局間との連携を図り、連盟全体の発展を目指すことが焦眉の課題です。

特に、中国、四国、九州での組織拡大を図ることを当面の重点課題としています。その具体化として、広島での県連盟づくりに成功することは連盟全体の発展にとっても大きな貢献となります。

2、期日と会場

期日 5月26日 AM10:00～12:00

その後、食事しながら懇談

会場 広島市東区二葉公民館

4、懇談内容

- ・それぞれ自己紹介を兼ねて、お互いの種目、スポーツや連盟とのかかわりなどを出し合った。
- ・和食理事長より、スポーツ連盟の目的と活動について説明があった。

今、多様なスポーツ活動が旺盛に展開され、愛好者やクラブがスポーツ団体を選択する時代に入っている。スポーツ基本法が制定され、スポーツを権利とする考え方が日本のスポーツ界では共通の認識になってきている。これまでの権利意識の発展の歴史の説明があった。

- ・以上の報告と自己紹介を受けて懇談した。

自己紹介で出された意見。

- ・スポーツの楽しさや弱者も大切にするとスポーツ連盟の理念に共感した。また、健康維持を追求する過程でスポーツの必要性を感じるようになった。

3、出席者

全国連盟より和食理事長、北川副理事長。

沖縄少林寺流空手研究会広島県本部命宝会より寄氏、事務局宗吉邦夫氏、同じく命宝会のサッカーの子供クラブ指導者も兼ねた山下氏。

4月に結成された広島卓球協議会からは会長野崎進氏、事務局長神原輝義氏、会員の石黒氏。

広島市職労執行委員長金子氏、全国サッカー協議会運営委員及川久男氏。

個人参加の富岡氏、松本氏、元サッカー選手の温品氏など13名の出席でした。



後列左より寄、宗吉、温品、及川、北川、富岡、石黒

前列左より山下、金子、和食、野崎、神原

- ・体罰問題について、それぞれのところでどんな現状か話し合った。試合に負けた時など正座、グラウンド周回などの体罰は減少傾向とはいえ、いまだに横行している。サッカーの場合は、指導者ライセンスが義務付けられ科学的な指導が広がりつつある。
- ・昨年復興支援の空手演武会を開催し、とてもよかった。いまでも福島の子供たちは思い切り運動ができないでいる。スポーツを安心してできるようにしていくことがとても大事だということがわかった。

5、今後の方向

準備会として発足させ、引き続き、関係者に呼び掛けて継続します。当面のお世話は命宝会の方が担当。次回は7月27日(土)です。

中国、四国、九州地方での組織拡大をめざす 活動経験交流会議 開催要項

2013年6月11日 新日本スポーツ連盟スポーツ活動・組織局

< 開催趣旨 >

2013年度活動の重点として、『暖かさと連帯に充ちた多様なスポーツ活動を広げ、「スポーツの仲間づくり運動」をダイナミックにすすめよう』と提起されている。

2015年11月連盟結成50周年をめざし、広島をはじめとする中国、四国、九州での組織拡大を図り連盟全体の発展をめざすことが焦眉の課題となっている。

その具体化として、ブロックの共同の力の発揮、

都道府県連盟と全国・地方種目組織と連携、局間との連携を図り、この課題に挑戦していくことが必要になっている。

このような趣旨から標記の会議を計画する。なお、翌日の8月5日に「スポーツマンの平和のつどい」が開催されます。その集会を成功させるためにも極力参加してもらうことを要請します。

(4日の宿泊費は原則として派遣組織の負担とします)

1、期日と会場

期日 8月4日(日) 12:30 受付 13:00 開会~17:00 終了 そのあと懇親会
会場 広島県東区二葉公民館

2、内容について

全体テーマ「中国、四国、九州での組織拡大をいかに図っていくか」
個別報告

- 1) 広島県連盟立ち上げの取り組みの状況について
- 2) 卓球での中国、四国、九州での組織拡大の戦略
- 3) 福岡県連盟の組織拡大の取り組みについて

3、出席対象者

- 1) 中国、四国、九州地域の県連盟組織及び準備組織の代表者
- 2) 全国種目組織の代表者
- 3) 今後、連盟組織確立に協力していただける関係者

4、交通費の助成

各組織1名分の交通費を助成する。

5、申し込み締め切りは7月22日とします。

茨城県でスポーツ活動懇談

関東ブロック会議では、県連盟のない地域での各種のスポーツ大会の開催を広げ、「関東ブロックに県連盟を結成する」ことを重点課題としています。

これまで、茨城県の南部では、サッカー大会、バドミントン大会、卓球大会、ミックスポレーボール大会などを展開する実績を重ねてきましたが、スポーツ連盟の組織の結成までには至っていません。

2013年6月11日に萩原純一氏(都連盟理事長)は、茨城県内の関係者とスポーツ活動懇談を行い、茨城県のスポーツ事情とスポーツ連盟活動の展望について話し合い、次回8月31日に茨城県連盟結成呼びかけ人予備会議を開催する運びとなりました。

奈良県連盟づくりについて

関西ブロック会議(5月11日)の報告では、大阪卓球協の奈良担当を決めて、奈良で大会を開催する準備をしています。また、和歌山県連盟の林口秀司氏が県連盟結成に向けて意欲的に取り組んでいます。

東北ブロック会議(6/8)では

秋田から2名、山形から1名、福島から1名の参加があり、岩手5名と宮城8名をあわせて17名の出席者となりました。会議のなかで、秋田・青森・山形の組織を「再編していく」点で議論し、具体的に相談を開始することで決意を固めあいました。

地方連盟の対自治体懇談会（交渉）を後押しするための情報提供

スポーツ権・平和運動局 青沼裕之

新日本スポーツ連盟第30回定期総会決議では、「国民のスポーツ権実現とスポーツの民主的な発展をめざす活動」の一環として、地方連盟による対自治体懇談会（交渉）を重要視しています。これまで少なくない地方連盟で創意工夫したやり方で対自治体懇談会がおこなわれてきましたが、まだまだ多くの地方連盟がその企画・実行に移れていない状況です。日常的なスポーツクラブ活動を組織し、参加者のニーズを大切にする大会を開催するためにも、地域住民のスポーツ要求実現の土台をつくるスポーツ施設整備や利用条件の改善等を申し入れる対自治体懇談会の実施が求められています。

スポーツ権・平和運動局は、地方連盟の対自治体懇談会の実施を後押しするための情報提供をしていこうと話し合ってきました。今回は『全国通信』を活用して、初めての情報提供を致します。

2011年7月に公布された「スポーツ基本法」では、「地方公共団体は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即した地方スポーツ推進計画を定めるよう努めること」と消極的な表現ながら、自治体で「地方スポーツ推進計画」を策定するよう求めています。この計画はきちんと策定されている自治体ほど、我が連盟の今後の活動に影響を及ぼしてくるものと考えられます。そのため各々の地方連盟では、対自治体要望書を作成する上でも、所在地の都道府県および市町村の地方スポーツ推進計画を集团的に学習・検討してゆく必要があります。

以下に、すでに対自治体懇談会がおこなわれている都道府県を除いて、一定の規模を持つ地方連盟の存在する都道府県および市町村が策定した地方スポーツ推進計画の名称とその資料が掲載されている自治体のホームページを紹介致します。

宮城県：<http://www.pref.miyagi.jp/>—宮城県は「国のスポーツ基本計画を参酌しつつ本県スポーツの現状と課題を把握した上で、将来における県民のスポーツの目指す姿や目標を明らかにし、その実現に向けた施策を優先的かつ計画的に進めていくための新たな計画を策定する」として「宮城県スポーツ推進計画」（2013～2022年度）を策定しています。

仙台市：<http://www.city.sendai.jp/>—「仙台市スポーツ推進計画」（2012～2021年度）が策定されています。

千葉県：<http://www.pref.chiba.lg.jp/>—千葉県は「スポーツ基本法」の趣旨や本県の「体育・スポーツ振興条例」に基づき、施策を体系的、計画的・継続的に推進するため「第11次千葉県体育・スポーツ推進計画」（2012～2016年度）を策定しています。

千葉市：<http://www.city.chiba.jp/>—「千葉市スポーツ振興計画—元気・ふれあい・夢 スポーツ

プラン CHIBA—」（2011～2015年度）が策定されています。「スポーツ基本法」が成立する前の策定です。

埼玉県：<http://www.pref.saitama.lg.jp/>—「埼玉県スポーツ推進計画」（2013～2017年度）は「国のスポーツ基本計画を参酌し、埼玉県5か年計画と埼玉県教育振興基本計画における諸施策を踏まえた、本県のスポーツ推進の基本となる計画」とされています。

さいたま市：<http://www.city.saitama.jp/>—「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画」（2011～2020年度）が策定されています。

静岡県：<https://www2.pref.shizuoka.jp/>—「静岡県スポーツ振興基本計画」（2011～2020年度）は、スポーツ振興法に基づき「スポーツ立国戦略」（平成22年8月：文部科学省公表）を参考に静岡県の実情に合わせて策定されたものとされています。スポーツ基本法成立前に策定されたものです。

静岡市：<http://www.city.shizuoka.jp/>—「静岡市スポーツ振興基本計画」（2008～2014 年度）が策定されています。

岐阜県：<http://www.pref.gifu.lg.jp/>—「ぎふスポーツ振興計画」（2005～2014 年度）が策定済みです。

岐阜市：<http://www.city.gifu.lg.jp/>—「岐阜市スポーツ推進計画」（2013～2022 年度）が策定されました。

愛知県：<http://www.pref.aichi.jp/>—「いきいきあいちスポーツプラン～豊かなスポーツライフの創造～」（2013～2022 年度）は、「スポーツ基本法第 10 条第 1 項に規定する地方スポーツ推進計画として位置づけるもの」とされています。

名古屋市：<http://www.city.nagoya.jp/>—「名古屋市スポーツ推進計画～『やろまい 運動・スポーツ』でナゴヤ・元気 UP！～」（2013～2022 年度）が策定されています。

三重県：<http://www.pref.mie.lg.jp/>—「第 7 次三重県スポーツ振興計画」（2011～2014 年度）が策定されています。

津市：<http://www.info.city.tsu.mie.jp/>—「津市スポーツ振興計画」（2009～2017 年度）が策定されています。両者共にスポーツ基本法制定前です。

滋賀県：<http://www.pref.shiga.lg.jp/>—「滋賀県スポーツ推進計画」（2013～2017 年度）はスポーツ基本法第 10 条に基づく計画です。

大津市：<http://www.city.otsu.shiga.jp/>—「大津市スポーツ振興計画」（2010～2014 年度）が策定されています。

富山県：<http://www.pref.toyama.jp/>—「元気とやまスポーツプラン」（2012～2021 年度）が策定されています。

富山市：<http://www.city.toyama.toyama.jp/>—「富山市スポーツプラン」（2011～2020 年度）が「スポーツ立国戦略」を受けて策定されています。

石川県：<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/>—石川県は「学校教育、生涯学習、スポーツの 3 つのビジョンの理念を一本化して「石川の教育振興基本計画」（2011～2020 年度）を策定しています。

金沢市：<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/>—「金沢市民スポーツ振興計画」（2005～2014 年度）が策定済みです。

福井県：<http://www.pref.fukui.lg.jp/>—福井県スポーツ推進計画が 2013～2022 年度の期間で審議中です。

福井市：<http://www.city.fukui.lg.jp/>—「福井市教育振興基本計画」（2012～2016 年度）の中にスポーツ振興策が含まれています。

京都府：<http://www.pref.kyoto.jp/>—京都府スポーツ推進計画は 2014～2023 年度の計画期間で現在審議中であり、2013 年度中には策定の見通しである。

京都市：<http://www.city.kyoto.lg.jp/>—「スポーツの絆が生きるまち推進プラン～京都市市民スポーツ振興計画～」（2012～2021 年度）が策定されています。

大阪府：<http://www.pref.osaka.jp/>—「大阪府スポーツ推進計画～大阪スポーツ王国の創造～」（2012～2016 年度）はスポーツ基本法の制定を受けて策定されています。スポーツ推進計画は現在審議中の「世界的な創造都市へ向けて～グレート・リセット～」の一部に組み込まれています。

大阪市：<http://www.city.osaka.lg.jp/>—大阪市のスポーツ推進計画は上記の大阪府スポーツ推進計画に一本化されています。

徳島県：<http://www.pref.tokushima.jp/>—「徳島県スポーツ推進計画」（2013～2017 年度）が策定されています。

三好市：<http://www.city.miyoshi.jp/>—「三好市スポーツ振興基本計画」（2011～2018 年度）が旧スポーツ振興法の下に策定されています。

高知県：<http://www.pref.kochi.lg.jp/>—現在、新たな高知県スポーツ推進計画について審議中です。

高知市も土佐清水市も地域スポーツ振興計画は実施されていないようです。

福岡県：<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>—新たな福岡県スポーツ推進計画が 2014 年度に策定される予定です。

福岡市：<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>—「福岡市スポーツ振興計画～スポーツでこころとからだの健康づくり～」（2010～2019 年度）が策定されています。スポーツ基本法制定前の策定です。

国際活動局の最近の取組報告

国際活動局 伊賀野 明

国際活動局は、さる6月3日第11回目の会議を開催し、3月下旬以降の活動の整理と今後の取り組みについて確認しました。皆様に以下報告します。

(1) この間の国際交流について

①日本国内での活動として、全国RCよびかけの一環として、横浜ビビチタと大阪ビビチタが4月7日及び14日に開催されました。横浜には約230名の方々が参加し、今回初開催の大阪には約30人が参加し、世界と呼応した「平和ランニング」となりました。横浜の取組は、ビビチタを呼びかけているイタリアUISPの速報にも掲載され、世界同時マラソンの日本の取り組みを宣伝することができました。

②5月5日～11日、FSGTからの招待でTPC(ツール・ド・ペイ・ド・コーマラソン)に参加した団長・富田良一(京都ランナーズ)、北出祥夫(大阪RC)、加藤久規男(和歌山RC)、佐藤正美(東京RC)の4人の皆さんの参加報告が、「スポーツのひろば」7・8月号に掲載されています。フランスのみならず、ベルギー、ルーマニア、アルジェリア、モロッコ、イスラエル、ポーランド、日本の8か国のランナーが、交流を深め4日間6レース・88kmを全員完走しました。なお、30回記念大会が2014年5月28日～31日に開催するとのことで、主催クラブから非公式の招待がありました。

(2) スポーツ連盟のCSIT加盟検討(第5回理事会)の提起について、整理をしました。

①これまでのスポーツ振興法とは異なり、スポーツ基本法では国際交流の位置づけがより高まっています。今後、これらを反映した位置づけ、観点から今後の国・地方自治体への要請をしたい。

②CSITの国際化の進展に注目してのCSIT加盟検討提起は説得性があったといえます。併せて我が国のスポーツ団体の国際関係のイメージ化を整理し、加盟の意味を分かりやすくする努力が更に必要。

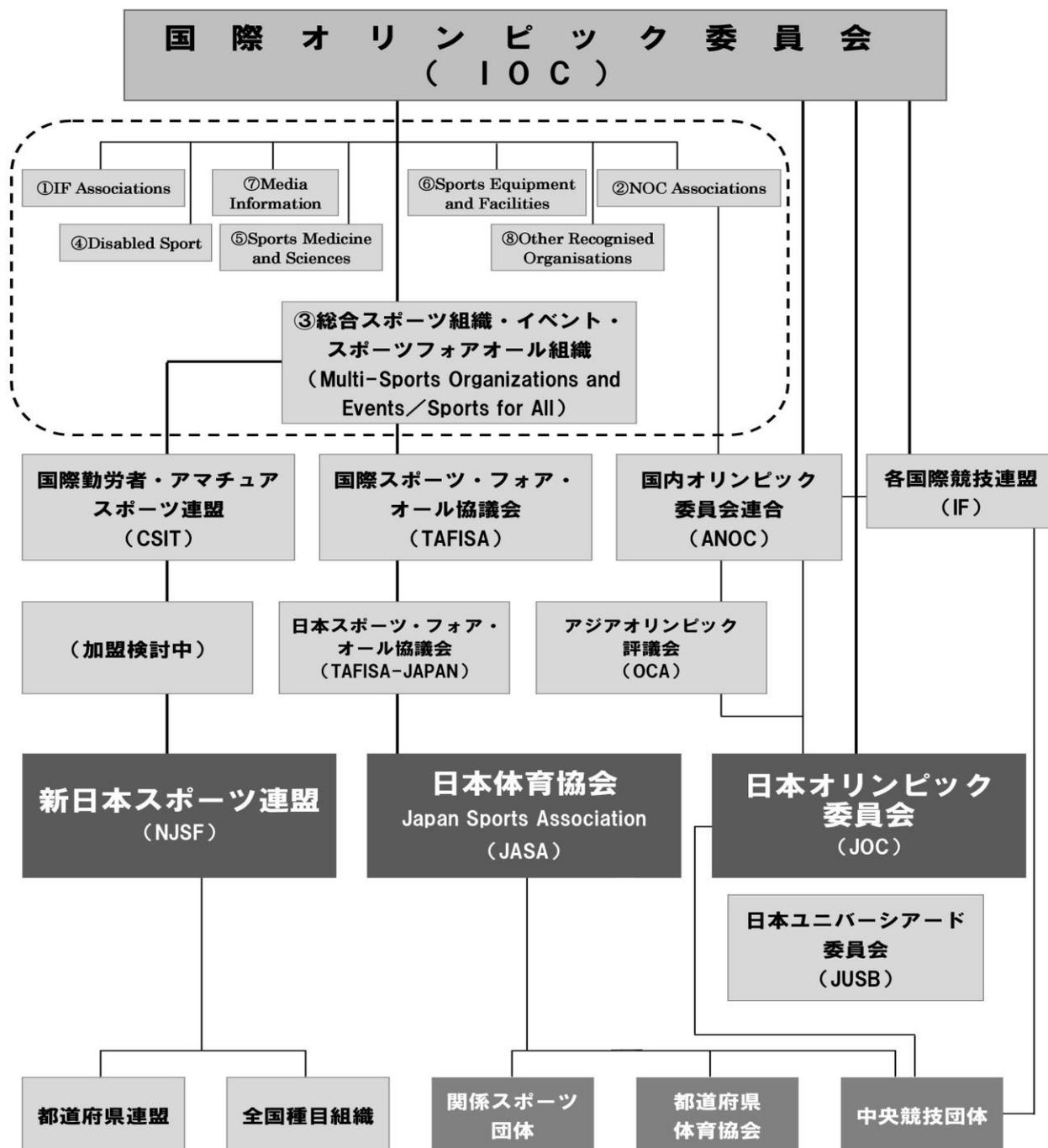
③韓国市民連帯主催の「2013 国際フォーラム及び反戦・反核・平和マラソン大会」招待について。韓国市民連帯との交流は2008年以来、6年目となりますが、今回は市民連帯が初めて開催する国際フォーラム(招待は日本とフランスFSGT)が、8月12日より15日までソウル及び近郊で開催されます。スポーツ連盟はこれに積極的に応えようと全国RCと協力して、その参加組織を調整してきました。組織派遣としては、団長に全国RC事務局長今野雄三さん、フォーラム発表者として聞間至さん(全国理事、スポーツ権・平和運動局、東京板橋区連盟)、大阪快走クラブ会長の瀧端美津雄さんの3名が決定しました。また、自費参加6名も募集しており、神奈川1(佐藤好行さん)、東京1、福岡2、埼玉1名等の参加が予定されています。アジアの一角で、韓・日・仏の人権・平和・民主主義をかかげるスポーツ団体が、複雑な国際政治状況があるもとでも、それぞれの国のスポーツ活動の交流(聞間さんは「生活に根ざしたスポーツ」のテーマで報告予定)と世界の反戦・反核・平和をめざしてマラソン(3日間約300km)を行うことはとても有意義なことです。この結果に注目ください。

(3) 前回の全国通信に掲載した国際局の方向のその後の進展

①CSITに加盟した場合を想定し、その場合の国際関係図を整理しました。加盟することによって、スポーツ連盟の国際組織との関係が理解できると考えられます。次頁参照ください。

②CSITでのサッカー・卓球・陸上での活動把握については、これからです。

IOCにより承認された組織



2013年6月14日 新日本スポーツ連盟国際活動局

<国際組織とスポーツ連盟>

IOC（国際オリンピック委員会）の組織的な構成を見ると、①IF（各国際競技連盟）、②NOC（各国内オリンピック委員会）、③総合スポーツ組織・イベント・スポーツフォアオール組織）が大きな柱となっている。現在、加盟検討中のCSIT（国際勤労者・アマチュアスポーツ連盟）は③のカテゴリーに所属している。

わが国に引き寄せて考えると、①JOC（日本オリンピック委員会）、②各競技団体、③スポーツフォアオール団体ということになる。CSIT（国際勤労者・アマチュアスポーツ連盟）に加盟すると、「日本体育協会」と同じカテゴリーに位置づけられることが想定される。

全国会議及び主要事業予定一覧 (2013年6月～9月)

月日	全国、都道府県連盟・全国種目組織
6月	1～2日 全国交流ウォーキング(富士山)
	2日 原発ゼロをめざす中央集会(明治公園)デモ行進～原発国会大包围
	2日 全国ランニングセンター・関西クリニック
	2日 徳島反核平和マラソン、高知反核平和マラソン、香川反核平和マラソン
	7日 ひろば7・8月号発行
	8～9日 全国勤労者スキー協議会代表者会議
	9日 名古屋・周平和大好きマラソン、富山反核平和マラソン
	15日 石川反核平和マラソン
	16日 京都反核平和マラソン、三重県連盟総会、
	22日 神奈川県連盟総会、石川県連盟総会
	22～23日 全国バドミントン競技大会団体
	23日 兵庫県連盟種目代表者会議
	24日 石川反核平和マラソン
	30日 和歌山反核平和マラソン、群馬反核平和マラソン
7月	3日 スポーツ科学研究所第3回討論会「フェアプレイとスポーツの価値」
	7日 長野県連盟総会
	7日 宮城反核平和マラソン、三重反核平和マラソン&ウォーキング
	7日 大阪関西網の目反核平和マラソン
	7日 和歌山平和大好きウォーク・マラソン、愛媛反核平和マラソン
	13～14日 神奈川反核平和マラソン
	14日 大阪府連盟第47回定期総会、兵庫平和マラソン
	15日 千葉反核平和マラソン
	21日 福岡ニコニコベースの平和マラソン
	27日 東京反核平和マラソン、青森平和駅伝&ウォークの集い 全国ソフトボール理事役員会
8月	1日 ひろば9月号発行
	4日 あいち反核・平和マラソン&ジョギング(鶴舞公園)
	5日 石川反核平和マラソン
	6日 滋賀・反核平和マラソン、広島城周回マラソン
	6～8日 反核平和マラソン(広島～長崎)
	12～15日 韓国市民連帯第1回国際フォーラム及び反戦・反核・平和マラソン大会
	17～19日 全国ランニングセンター・信州クリニック
	24～25日 30期第6回理事会
9月	3日 ひろば10月号発行
	28～29日 全国スポーツセミナー・岩手県盛岡

* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

石川啄木・宮沢賢治・平泉～文化の香り高いふる里 岩手で

スポーツセミナー in 岩手

・主催 新日本スポーツ連盟 ・主管 新日本スポーツ連盟岩手県連盟

■とき 2013年9月28(土)～29日(日)

■ところ 岩手県盛岡市繫字湯の館(つなぎ温泉)37-1

■会場 湯守ホテル大観(宿泊) ※盛岡駅から送迎バスあり

■参加費 15,000円 (1泊3食付～28日夜「交流会」、29日「朝」「昼」)

■内容 ・講義 高橋薫・富士大学教授/富士大学硬式野球部部长
・講義 立身正信・岩手大学学生健康管理センター所長
・スポーツレクリエーション(卓球 ウォーキング ランニング カヌー)

■詳細案内・申込書は、

<http://www.t-njsf.net/data/130928iwate.pdf>

新日本スポーツ連盟 機関誌
「スポーツのひろば」の購読を
オススメします!

キャンペーン
2014年 実施中
3/31
まで

もっと
スポーツ連盟を
知ろう

只今キャンペーン中
加盟員の
新規読者の価格 年間2,900円
年10回発行 (送料込みの場合3,600円)
通常定価 450円 年別定価 5,200円(送料込み)

スポーツに役立つ情報満載
なぜ筋肉痛になるの? 筋肉痛にならない方法

フェアプレイとスポーツの価値

新日本スポーツ連盟スポーツ科学研究所準備委員会
第3回研究討論会

スポーツにおいてフェアプレイの大切さは広く認められているといえます。しかし、その一方で、フェアプレイと相反するプレイや出来事が頻発しています。

フェアプレイという視点からスポーツについて考えてみることで、あらためてスポーツの価値を共有する機会になればと思います。

東京新聞の「サッカーの話をしよう」などでご活躍のサッカージャーナリスト大住良之さんから、現実のプレイとスポーツ界の出来事に即してフェアプレイとスポーツの価値を語っていただきます。

開催日：2013年7月3日(水)

会場：豊島区生活産業プラザ 8F
(ECOとしま)

住所：豊島区東池袋1-20-15

*JR池袋東口下車徒歩7分

*資料代：500円

＝プログラム＝

18:30

受付開始

19:00～19:05

開会あいさつ

19:05～20:25

講演

講師：大住良之氏(サッカージャーナリスト)

20:25～20:35

休憩

20:35～20:55

質疑・意見交換

20:55～21:00

閉会あいさつ